

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	体表解剖学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	機能訓練室
担 当 教 員	西尾嘉津政	実務経験とその関連資格	理学療法士10年目。教員歴4年目。			
《授業科目における学習内容》						
講義資料や教科書、骨標本を使用し、筋骨格を3次的にイメージし、実際に骨を指標としながら筋を触察する。講義の後には学生同士で実際に触察を行い、個々の筋の走行や形状を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト:20% 実技試験:80%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:河上敬介:骨格筋の形と触察法 改訂第2版,大峰閣,2013 坂井建雄:プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版,医学書院,2016 その他:骨模型・ペン						
《授業外における学習方法》						
教科書の写真やイラスト、骨模型をよく見ながら、骨や筋の形状をイメージできるようにする。筋の起始・停止も言葉でだけでなく、上記の教材を見ながら覚え、作用を体を動かしたりイメージしながら覚える。事前に教科書で触診の手順を予習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
触診の際は爪を切っておくこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩甲骨の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題)肩甲骨の解剖学	
		各コマにおける授業予定	概論 肩甲骨			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	三角筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題)三角筋の解剖学 (予習課題)三角筋の触察	
		各コマにおける授業予定	筋の触察「三角筋」			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	僧帽筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題)僧帽筋の解剖学 (予習課題)僧帽筋の触察	
		各コマにおける授業予定	筋の触察「僧帽筋」			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	広背筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題)広背筋の解剖学 (予習課題)広背筋の触察	
		各コマにおける授業予定	筋の触察「広背筋」			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	上腕二頭筋、上腕筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題)上腕二頭筋、上腕筋の解剖学 (予習課題)上腕二頭筋、上腕筋の触察	
		各コマにおける授業予定	筋の触察「上腕二頭筋、上腕筋」			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	上腕三頭筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 上腕三頭筋の解剖学 (予習課題) 上腕三頭筋の触察
		各コマにおける授業予定	筋の触察「上腕三頭筋」		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	大胸筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 大胸筋の解剖学 (予習課題) 大胸筋の触察
		各コマにおける授業予定	筋の触察「大胸筋」		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	腹直筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 腹直筋の解剖学 (予習課題) 腹直筋の触察
		各コマにおける授業予定	筋の触察「腹直筋」		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	大殿筋、中殿筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 大殿筋、中殿筋の解剖学 (予習課題) 大殿筋、中殿筋の触察
		各コマにおける授業予定	筋の触察「大殿筋、中殿筋」		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	腸腰筋、大腿筋膜張筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 腸腰筋、大腿筋膜張筋の解剖学 (予習課題) 腸腰筋、大腿筋膜張筋の触察
		各コマにおける授業予定	筋の触察「腸腰筋、大腿筋膜張筋」		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	薄筋・縫工筋・長内転筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 薄筋・縫工筋・長内転筋の解剖学 (予習課題) 薄筋・縫工筋・長内転筋の触察
		各コマにおける授業予定	筋の触察「薄筋・縫工筋・長内転筋」		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿直筋、内側広筋、外側広筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 大腿直筋、内側広筋、外側広筋の解剖学 (予習課題) 大腿直筋、内側広筋、外側広筋の触察
		各コマにおける授業予定	筋の触察「大腿直筋、内側広筋、外側広筋」		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	半腱様筋、半膜様筋、大腿二頭筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 半腱様筋、半膜様筋、大腿二頭筋の解剖学 (予習課題) 半腱様筋、半膜様筋、大腿二頭筋の触察
		各コマにおける授業予定	筋の触察「半腱様筋、半膜様筋、大腿二頭筋」		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	腓腹筋、ヒラメ筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 腓腹筋、ヒラメ筋の解剖学 (予習課題) 腓腹筋、ヒラメ筋の触察
		各コマにおける授業予定	筋の触察「腓腹筋、ヒラメ筋」		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	前脛骨筋、長・短腓骨筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 前脛骨筋、長・短腓骨筋の解剖学 (予習課題) 前脛骨筋、長・短腓骨筋の触察
		各コマにおける授業予定	筋の触察「前脛骨筋、長・短腓骨筋」		